

PGRelief でチェック可能な MISRA-C:2004 ルール 一覧

( 別途 MISRA オプションのご購入が必要です )

ルール	可否	ルール	可否	ルール	可否	ルール	可否
1.1	○	8.7	○	13.4	○	18.2	○
1.2	○	8.8	○	13.5	○	18.3	×
1.3(文)	×	8.9	○	13.6	○	18.4	○
1.4(文)	×	8.10	○	13.7	○	19.1	○
1.5(文)	×	8.11	○	14.1	○	19.2	○
2.1	○	8.12	○	14.2	○	19.3	○
2.2	○	9.1	○	14.3	○	19.4	○
2.3	○	9.2	○	14.4	○	19.5	○
2.4	×	9.3	○	14.5	○	19.6	○
3.1(文)	×	10.1	○	14.6	○	19.7	○
3.2(文)	×	10.2	○	14.7	○	19.8	○
3.3(文)	×	10.3	○	14.8	○	19.9	○
3.4(文)	×	10.4	○	14.9	○	19.10	○
3.5(文)	○	10.5	○	14.10	○	19.11	○
3.6(文)	×	10.6	○	15.1	○	19.12	○
4.1	○	11.1	○	15.2	○	19.13	○
4.2	○	11.2	○	15.3	○	19.14	○
5.1	○	11.3	○	15.4	○	19.15	○
5.2	○	11.4	○	15.5	○	19.16	○
5.3	○	11.5	○	16.1	○	19.17	○
5.4	○	12.1	○	16.2	○	20.1	○
5.5	○	12.2	○	16.3	○	20.2	○
5.6	○	12.3	○	16.4	○	20.3	△(注2)
5.7	○	12.4	○	16.5	○	20.4	○
6.1	○	12.5	○	16.6	○	20.5	○
6.2	○	12.6	○	16.7	○	20.6	○
6.3	○	12.7	○	16.8	○	20.7	○
6.4	○	12.8	○	16.9	○	20.8	○
6.5	○	12.9	○	16.10	○	20.9	○
7.1	○	12.10	○	17.1	○	20.10	○
8.1	○	12.11	○(注1)	17.2	○	20.11	○
8.2	○	12.12	○	17.3	○	20.12	○
8.3	○	12.13	○	17.4	○	21.1	△(注3)
8.4	○	13.1	○	17.5	○		
8.5	○	13.2	○	17.6	○		
8.6	○	13.3	○	18.1	○		

(文): 文書化を要求するルールです。

○: 指摘できます。×: 指摘できません。

△: 静的解析では指摘が困難なルールですが、検出可能な範囲で指摘します。

注1: 符号なし定数の減算により負となる場合のみ指摘します。

注2: 引数が0番地参照する可能性のあるランタイムライブラリ関数呼出しについて指摘します。

注3: 以下の場合に指摘します。

- ・シフト演算が型幅を超えている。
- ・ゼロ除算を行っている。
- ・配列の範囲を超えている。
- ・0番地参照を行う可能性がある。